

LIONBRIDGE



ライオンブリッジにおけるプライバシーと セキュリティの保護に関するガイド



ローカリゼーションにおけるプライバシーとセキュリティの保護

ライオンブリッジでは、いかなる状況下でもデータの安全性を保つことを優先し、プライバシーとセキュリティの保護に関するプログラムの策定と実施を通じて、お客様から受け取ったあらゆるデータを保護し、当該地域における法的要件への確実な準拠を実現しています。また、お客様にご安心いただくため、言語サービスプロバイダー (LSP) として初めて「ISO 27001」および「ISO」の認証を取得しています。

プライバシー・セキュリティ保護に関する当社の優れたプロトコルやプロセスについてご興味があれば、ぜひ本ガイドをお読みください。

当社のプライバシーに関する指針

ライオンブリッジでは、翻訳、ローカリゼーション、通訳、テストなど、多岐にわたる幅広いサービスを提供しております。当社では、業務委託契約書や作業指示書などの文書に準じてこれらのサービスを提供いたします。

数少ない例外を除いて、当社のサービスに個人データの処理を伴うことはありません。そのため、当社では、サービスを提供する上で必要となる場合を除き、企業連絡先情報以外の個人データを当社に対して提示しないようお客様にお願いしております。

当社は世界中のさまざまな地域でサービスを提供するサービスプロバイダーとして、プライバシーとデータ保護に関する責任と義務について十分に認識しており、お客様よりご提示いただくすべてのデータを確実に保護できるよう、適正なコンプライアンスプログラムを策定しています。

当社のプログラムは欧州の一般データ保護規則 (GDPR) への準拠を基盤として策定されており、当社の取り組みについてお伝えする際には、GDPR で定義されている用語やその体系などに沿ってご説明する場合があります。

お客様からの信頼に応えるチーム

当社ではセキュリティやプライバシー保護を担当する専任チームを社内においており、トラスト最高責任者 (Chief Trust Officer) のもと、当社のデジタル環境や物理的な設備の保護に注力しています。当社では、適切な情報処理はお客様に安心と最高のサービスをご提供する上で不可欠な力と考え、セキュリティとプライバシーの保護、そして各種規制への準拠は、現代の情報社会における信頼の根幹をなすものと捉えています。お客様の信頼に十分にお応えすることが当社のミッションです。

ビジネスを行う上でプライバシー保護や規制準拠の要件がより厳格な地域がありますが、このような場合でも当該の要件をすべて満たせるよう、当社ではアイルランドを拠点とする当社のデータ保護責任者 (DTO) により、当社のグローバル プライバシー保護プログラムを通じて、あらゆる対象地域の各種規制への準拠を確実なものにしています。

データ処理サービス プロバイダーとしてのライオンブリッジ

当社がお客様にサービスを提供する際は、当社はデータ処理サービスプロバイダーとしての役割を果たすことになります。つまり、データや情報は「データ管理者」であるお客様からの指示によってのみ、もしくは当社とお客様との間で合意した特定の用途のみで処理されます。

その他の目的で情報を処理したり、いかなる状況下でも情報を売却したりすることはいたしません。

データ保管場所

当社のオンライン サービス提供プラットフォームである「Freeway」を利用したサービスにおいては、米国マサチューセッツ州とニューヨーク州にある Lionbridge Equinix データセンターにてデータがホストされます。このデータセンターは、独自の認定に加えて NIST 800-53/FISMA、SOC 1 Type II、PCI-DSS、SOC 2 Type II、ISO 27001 の認定および独立評価を受けています。当社のオムニチャンネルの仮想翻訳および通訳ツールである「GeoFluent」利用したサービスでは、データは Microsoft 社の Azure Cloud で処理されます。GeoFluent を使用する場合は、データが当社のデータセンターに送られることはなく、データは Microsoft 社のクラウドで展開され、処理されます。また、一部のサービスにおいては、データがスイスにて処理・保管されます。

EU から第三国へのデータ移転

数少ない例外はありますが、通常、当社が提供するサービスでは個人データを処理する必要性は生じません。当社は EU の GDPR に準拠しており、これには「Transfers subject to appropriate safeguards (適切な保護措置に従った移転)」条項に盛り込まれた要件も含まれます。欧州連合から第三国 (米国など) へ個人データを移転する場合には、情報を第三国へ移転させることが正当な理由に基づくことを前提として、EU の標準的契約条項 (データ輸出者) に則り、GDPR の第 46 条 2(c) 項に準拠した形で移転します。

PIPL への準拠

PIPL とは?

中国個人情報保護法 (PIPL) は、中国で新しく施行されたデータプライバシー ポリシーです。欧州の GDPR と同様に、PIPL は個人情報の保護を目的とし、中国において個人を特定できる情報 (PII) を扱うすべての組織・個人に適用されます。

PIPL ではさらに、意図的か意図的でないかにかかわらず、第三者への情報提供について企業に説明責任を負わせています。当社は PIPL にも準拠する体制を整えており、PIPL に準拠したローカリゼーション サービスをお客様にご提供できます。

PIPL は、中国国内で個人情報を処理する際や、中国国内の人々の個人情報を中国国外で処理する際に適用されます。たとえば次のような場合です。

- 商品やサービスを中国国内の人々に提供することを目的とする場合
- 中国国内の人々の活動を分析・評価することを目的とする場合
- 法律および規制により定義されるその他の場合

PIPL における個人情報と個人情報の処理の定義

PIPL では、個人情報とは、電子的な方法あるいはその他の方法で特定された、あるいは特定可能な個人に関するさまざまな種類の情報を指します。匿名で処理される情報は対象にはなりません。金融口座の情報は含まれます。個人情報の処理には、個人情報の収集、保管、使用、処理、伝送、公開、および消去が含まれます。

ライオンブリッジの PIPL 準拠体制

PIPL と、EU の GDPR およびブラジルの LGPD との重要な違いの一つは、PIPL では正当な利益に基づく個人情報の処理が認められていない点です。

ライオンブリッジがお客様にサービスを提供する際、当社は主に「信頼されたパートナー」としての役割を果たすことになります。つまり、情報はお客様 (個人情報を処理する存在) からの指示によってのみ、また当社とお客様との間で合意した特定の用途のみで処理されます。

当社では、サービスを提供する上で必要となる企業連絡先情報を処理するための契約に関するコンセンサス、ならびにこの契約に則って処理する必要性に基づいて情報を処理します。当社では非公開のテクノロジーを用いてサービスを提供しており、当社のツールにアクセスするには、当社による審査と承認を必要とする登録が必要になります。

つまり、正当な理由を持つ利用規約に同意した個人、または当社とビジネス上の契約を結んだ正当な理由を持つ個人によってのみ、これらのツールへのアクセスが許可されることを意味します。当社では、お客様にサービスを提供する上で必要となる場合のみに、また業務委託契約書にて明確に定められている用途のみで情報を処理します。

加えて、ISO 27001:2013 および ISO 27701:2019 に準拠した措置を技術的・組織的に講じており、このような国際標準で定義されたすべてのセキュリティ・プライバシー保護に関する当該要件にも準じています。

国境を越えたデータの移転やその他の領域に関する中国サイバースペース管理局による今後の追加要件や詳細については、今後も評価を続け、準拠していく予定です。

LGPD への準拠

ブラジルの一般データ保護規則である LGPD (Lei Geral de Proteção de Dados Pessoais) は 2021 年 8 月に施行されました。当社では、ブラジルにおけるプライバシー関連要件への対応を担当するデータ保護オフィサー (DPO) の任命を含め、LGPD への準拠を確実にするための技術的かつ組織的なセキュリティ管理体制を整えています。



ライオンブリッジが他社と異なる点

ライオンブリッジは ISO 27701:2019 認証を受けた初めての言語サービスプロバイダーであり、これはお客様のデータを保護する当社の取り組みをよく示しています。当社は ISO 27001:2013 認証が求める以上の要件を達成するため、個人データを含めたデータの保管だけでなく、組織におけるデータサイクル全体の適合性を証明する ISO 27701:2019 認証を取得しました。世界を牽引するグローバルな言語サービスプロバイダーである当社では、さまざまなお客様のデータと知的財産を日常的に扱っています。そのため、お客様には当社の情報処理プロセスを十分にご信頼いただく必要があります。そのために、データセキュリティ保護に関する慣習で求められる以上の基準と体制を整える姿勢が生まれたのです。

データ主体の権利の保証

当社では、一部の法律や規制によって認められている「データ主体の権利」を保証するためのポリシーとプロセスを策定・運用しています（データへのアクセス、修正、削除、可搬性、処理の制限など）。

プライバシーに関するインシデントへの対応

当社は、プライバシーやセキュリティに関連するインシデントの管理について、多数のプロトコルを用意しています。これらのプロトコルの一つとして、システムやデータの積極的なモニタリングが含まれています。セキュリティやプライバシーに関連するインシデントの可能性が検出された場合には、合理的に可能な範囲で即座に調査され、規制とおお客様の要件に基づいてこの問題の影響を受けるお客様、個人、および組織に対してこの問題が通知されます。当社では、お客様が必要とする特定の要件に常に準拠できるよう、お客様と緊密に連携して取り組んでいます。当社では、お客様への通知も含めて、プライバシー・セキュリティ関連のインシデントを管理するインシデント対応プランをご用意しています。

ライオンブリッジのスタッフが受けるトレーニング内容

当社で勤務するすべての従業員は、雇用時ならびに四半期ごとにセキュリティ・プライバシー保護に関するトレーニングを受講することが義務付けられています。各従業員は当社が定めるセキュリティ・プライバシー保護に関するポリシーと機密保持契約


(NDA) について同意し、これに署名します。当社の翻訳作業は主に世界中のさまざまな国や地域で活躍する多数のフリーランス翻訳者やコントラクターによって行われますが、これらの翻訳者もすべて当社のプライバシーポリシーとデータ保護に関する付加条項に同意して署名する必要があります。

ライオンブリッジ社内でのセキュリティ管理

情報技術システムはライオンブリッジの根幹を担うものであり、当社ではこれらのシステムの構築とメンテナンスに多大な人的リソースを投入し、投資を行ってきました。システムのメンテナンスも重視し、社内での誤用を回避したり、外部の脅威から保護したりするための措置を継続的に実施しています。

当社では、お客様のコンテンツやデータにアクセスする個人に対して、明確な役割と責任を定めています。非常に厳格なユーザーアクセス制御が実装されており、特定のプロジェクトに参加し、コンテンツやデータへのアクセスを必要とする個人のみが情報にアクセスできるよう設計されています。すべてのアクセス（特権的アクセスも含む）は記録され、付与されたアクセス権限が当社のセキュリティチームによって定期的に検証されます。

お客様のデータやコンテンツは伝送・保管時に暗号化されます。当社ではボリュームレベルで AES-256 暗号化を採用しており、ブラウザーでのやり取りには TLS を採用しています。



ライオンブリッジでは、セキュリティ・プライバシー保護に取り組む専任チームを有する体制と、お客様のデータを保護するための洗練された準拠プログラムの実施を通じて、多くのお客様から信頼をお寄せいただいています。当社の専門家が、場所を問わずお客様の情報セキュリティを確実なものとします。

プライバシーやセキュリティ保護に関するご質問については、当社の Trust チーム (data-privacy@lionbridge.com) までお問い合わせください。

ライオンブリッジについて

ライオンブリッジはさまざまなお客様のために架け橋を築き、障壁を打ち破ってあらゆる課題を解決に導きます。25年にわたり、350を超える言語で翻訳とローカライゼーションのソリューションを提供し、お客様の企業が世界中の顧客とつながるための支援をしてきました。当社独自のワールドクラスのプラットフォームを通じて、世界各地で活躍する多数の専門家のネットワークを活用し、さまざまなブランド・企業と提携して文化的に豊かなエクスペリエンスを生み出しています。言語のプロフェッショナルとして、ライオンブリッジは優秀な人材と洗練されたマシン インテリジェンスの能力を活用し、お客様の顧客の心に響くメッセージをお届けします。米国マサチューセッツ州ウォルサムに本社を置くライオンブリッジは、世界 23 か国にソリューション センターを設けています。

[詳しくはこちら](#)

LIONBRIDGE.COM

LIONBRIDGE

© 2021 Lionbridge. All Rights Reserved.